

## 3-4 安全管理

### 1. 要約

2002年、安全管理室では、使用許可の変更申請を1回行い、放射線施設の施設検査と立ち入り検査をそれぞれ1回ずつ受けた。また、新たに組換えDNA実験安全管理規定を制定し、国の指針に基づいた管理体制を整えた。さらに、化学薬品や高圧ガスに関する管理体制の見直しを行っている。

### 2. 放射線安全管理

#### 2-1 許認可申請

平成14年中には、ビームライン5本（BL22XU, BL26B1, BL26B2, BL32B2およびBL37XU）の新設などを内容とするSPring-8の使用許可の変更申請が一件（第12次変更申請）あり、3月22日に申請書が受理され4月8日付で許可された。他には、原研の理事長が交代したことに対応する許可使用に係る氏名等の変更届を9月20日に提出した。

#### 2-2 立入検査および施設検査

平成14年には、施設検査1件と文部科学省による立入検査1件があった。施設検査は、平成10年8月18日付で使用許可があったRF電子銃試験装置に係るもので、3月15日に施設検査が行われ、4月3日付けで合格となった。また、立入検査は、5月8日と9日の両日にわたって行われたが、特段の指摘事項はなかった。

#### 2-3 放射線専門部会と放射線安全委員会の開催

ビームライン2本（BL05SSおよびBL17SU）の新設、BL38B2の蓄積電流200mAまでの放射光利用、直線加速装置・ブースターシンクロトロン・蓄積リングの使用目的および使用方法の変更（陽電子加速の廃止など）ほかを内容とするSPring-8の使用許可第13次変更申請を審議するため、大型放射光施設安全性検討委員会・放射線専門部会を11月25日、放射線安全委員会を12月17日に開催し、申請内容は基本的に了解された。

#### 2-4 放射線業務従事者管理

平成13年度末の放射線業務従事者数は、職員（原研、理研、ニュースパル、専用ビームラインの常駐者、SES、などの職員および警備員を含む）が909名、ユーザーが2218名、立入業者が744名の計3871名であった。年度替りて、登録従事者数は一旦1896名まで下がったが、平成14年12月末日には職員1002名、ユーザー2254名、立入業者667名の計3923名まで増加し、平成14年度末の登録総数は4500名に達する勢いであった。

### 3. 化学薬品安全管理

化学薬品及び有害物質の管理規程の改訂に係る検討を続け、平成14年度末の成案を目指して作業を続けている。

化学薬品管理の届出業務としては、9月19日に向精神薬の使用に係る変更届を提出した。

### 4. バイオセーフティ

バイオセーフティ専門部会を5月31日に開催し、イネ萎縮ウイルスを用いる実験と、下水汚泥を用いる実験の安全などについて審議した。

組換えDNA実験に係る国の指針が制定されたことに対応し、財団の組換えDNA実験管理体制を整備するため、7月17日に「組換えDNA実験安全審査委員会規則」を制定し、委員の任命と委嘱を行い、8月1日の第1回組換えDNA実験安全委員会で「組換えDNA実験実施安全管理規程」を承認し、規定に基づいて申請された3件の承認申請案件を10月23日の第2回組換えDNA実験安全委員会で安全審査した。

### 5. 高圧ガス安全管理

放射光ビームラインに設置する高圧ガス設備に係る届出（高圧ガス製造施設等変更届）を、2月27日（HIP-1移設）4月12日（HIP-5設置）および5月24日（HIP-6設置）に行った。当該設備の安全管理のため、6月1日に高圧ガス保安管理規程を制定した。

また、試料充填装置（高圧ガス製造装置）の設置に備えて、5月7日に有資格業者に蓄積リング実験ホールの高圧ガス保安点検を実施させた。試料充填装置については、8月1日に高圧ガス製造許可申請を提出し、8月9日に許可を受けた。

### 6. 高出力レーザーの安全管理

レーザー管理規定を9月17日に改訂した。

### 7. 課題安全審査

2002B課題安全審査委員会を7月8日に、また、2003A課題安全審査委員会を12月4日に開催した。

### 8. 国際規制物資の計量管理

蓄積リング実験ホールで使用するウランを含む試料に関し、供給当事国の範囲を拡大するために、1月21日付けで国際規制物資使用許可変更届を提出した。

## 9. その他

SPring-8における緊急時体制の整備のため、1月15日に山火事を想定した緊急時机上訓練を、1月28日と11月1日に、それぞれ業務時間内および夜間の緊急時通報訓練を実施した。

## 注) 各種委員会等の位置付け

大型放射光施設安全性検討委員会は、理事長の諮問に応じ、大型放射光施設の安全性に係る重要事項を審議し答申するために設けられた委員会で、外部委員6名と所内委員3名で構成されている。この委員会の下には、専門の技術的事項を検討するために、3つの専門部会（放射線専門部会、化学物質専門部会、バイオセーフティ専門部会）が置かれている。

放射線安全委員会は、放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律に基づいて制定された放射線障害予防規定に定められた委員会で、当施設の使用許可が二種類あることから、SPring-8本体とニュースパルとのそれぞれに設置されている。許可使用に関する変更申請などは、放射線安全委員会の審議を経て実施することになっている。

組換えDNA実験安全委員会は、国の指針に対応して、SPring-8で行われる組換えDNA実験の安全性を審査するために、理事長直属の委員会として設置されている。

安全管理室 多田順一郎